

DCON2020 入賞チーム

1位 東京工業高等専門学校 プロコンゼミ点字研究会

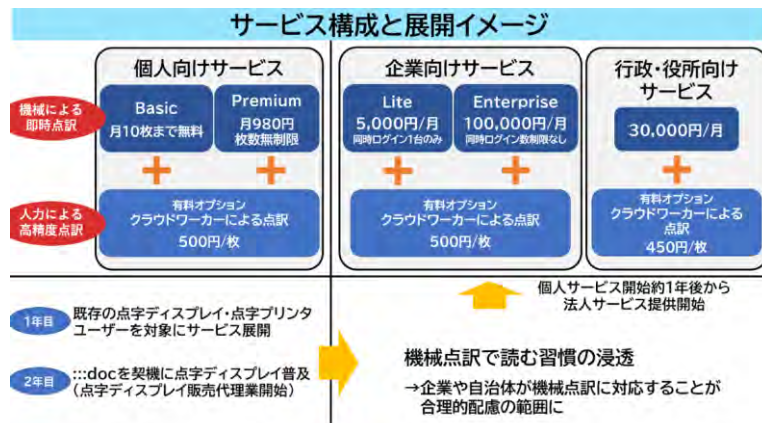
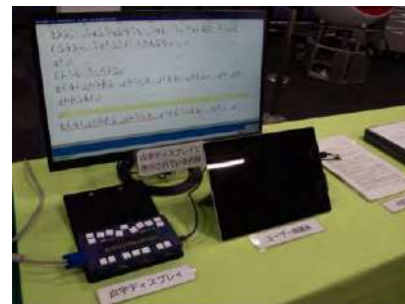
作品名： :::doc (てんどっく) 「自動点字相互翻訳システム」

企業評価額：5億円／投資額：1億円

投資希望人数：5名（リードVC:松本氏）

受賞：最優秀賞（JDLA若手奨励賞）

メンター：草野隆史（ブレインパッド）



【作品概要】

視覚障害者の方自身で、墨字（紙の印刷物）をスキャンして全自動で点字として出力し、点字をスキャンして全自動で墨字として出力することができるシステム。墨字と点字の壁を取り払う。

墨字ではA4用紙1枚のプリントが、そのまま点字にすると10枚以上になってしまう。そこで文章やグラフなどの「要約」にDLを活用し、1枚が1枚で出力されるようにした。現在は要約点訳コストが高すぎるため、企業や自治体で実施されていないが、本システムを採用することで「合理的配慮」の範囲になると見込む。

DCON2020 入賞チーム

2位 鳥羽商船高等専門学校 NIT TOBA, SiraisiLAB

作品名：Deep Learningを用いた「高品質カンキツ育成支援システム」

企業評価額：5億円／投資額：7,000万円

投資希望人数：5名（リードVC:仁木氏）

受賞：KDDI賞、コニカミノルタ賞

メンター：折茂美保（BCG）



【作品概要】

DLを活用して樹体画像から水分ストレスを測定、糖度の高い高品質ミカンの生産をサポートする自動水やりシステム。

農家の方々の負担を減らし、ブランド合格率が上がることで利益向上が可能となる。すでに2県4園で稼働中。DLの学習は園地に合わせて行われるため、他地域、世界中での展開が可能。また、葉物や他の果物でも活用が可能。

DCON2020 入賞チーム



3位 佐世保工業高等専門学校 佐世保高专魚市場チーム

作品名：次世代！仕分け人 ディープラーニングを用いた**高速魚種選別システム**

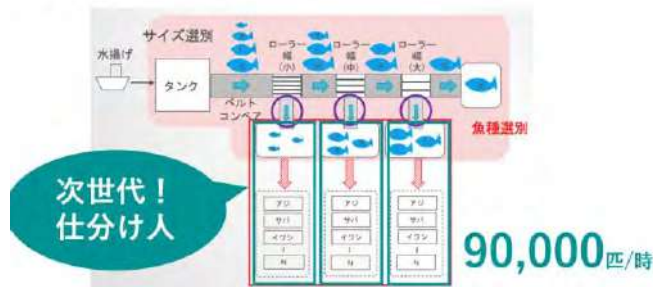
企業評価額：5億円／投資額：5,000万円

投資希望人数：4名（リードVC:河合氏）

メンター：小野裕史（17Media JAPAN）



導入想定



【作品概要】

魚市場等で行われている魚種選別作業を自動化するシステムを提供事業。魚市場等では、巻き網漁の後に行われる魚種選別作業の人手不足が深刻。魚の鮮度低下や漁の回転率低下となり収益が低下している。

装置は落とし穴付きのベルトコンベアを用いて、落とし穴の開閉によって魚をサイズと魚種で選別。強みは、低価格、高速性能、メンテナンス性などがあり、漁港や加工場等への導入を目指す。